

16.2.22 鉄鋼

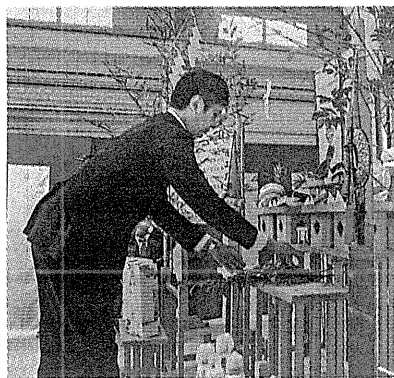
# アカシ 新溶断工場(愛知)が竣工 来月本稼働、2工場体制に

中部地区有力厚板溶断業のアカシ(愛知県高浜市、社長・加藤純也氏)は、昨秋より同市高浜ふ頭内の工業用地に建設を進めていた新溶断工場「碧海(あおみ)工場」が19日に完成し、竣工式を行った。当日は加藤社長を

はじめ加藤隆明アカシ会長のほか、施工会社を代表し、森田昌敏JFEシビル常務ら工事関係者約20人が参集した。新工場の敷地面積は約5100平方メートル。建屋はJFEシビルのシステム建築を採用した。今後、出力4KWレーザ加工機2台など加工設備の導入や事務所移転を進め、来月7日より、本社工場と2工場体制で本格稼働に入る。



竣工した「碧海工場」(左)と、玉串を奉てんする加藤社長



入る。

竣工式神事の直会で

加藤社長は「現本社工場は手狭感が否めず、

物流の整流化などで生産効率を引き上げるため、新工場建設を決め、

「加藤社長は建設工事中に取引先の方を連れ、何度も現場に足を運ばれたと聞いてい

た。当社が大切にしていることは『信頼』だ。取引先、仲間、従業員に信頼されなければ仕事は進まない。信頼できる取引先皆さまの御陰で、無事竣工を迎えられたことに感謝している」と謝辞を述べた。施工会社を代表し、

挨拶に立った森田昌敏JFEシビル常務は「加藤社長は建設工事中に取引先の方を連れ、何度も現場に足を運ばれたと聞いていた。竣工後の経営ビジョンを説明していたのではないのか。この新工場も加工能力いっばいに達するほどの仕事量に恵まれ、さらなる社業の発展を祈念している」と述べ、竣工記念品を贈呈した。